

平成 29 年 1 月 23 日

学 校 施 設 建 物 に つ い て

- 大規模改造工事
- 長寿命化改修工事
- 建替工事

工 事 概 要

- 1 工事件名 ○○小学校

①校舎内装
②校舎外装
③体育館

 大規模改造工事（第○期）
- 2 工事場所 西東京市○○町○丁目○番○号
- 3 工 期 契約確定日の翌日から平成○○年○月○日

4-① 校舎内装工事概要

- (1) 教室・廊下等床仕上げ改修、壁・天井塗装床、壁、天井改修
- (2) 教室扉改修
- (3) 黒板、掲示板等改修
- (4) トイレ、流し改修
- (5) LED 照明器具取替等電気設備改修
- (6) 給排水・換気設備等改修

4-② 校舎外装工事概要

- (1) 事前外壁調査：目視、打診、報告書作成
- (2) 外壁補修
- (3) 屋上・バルコニー防水改修
- (4) サッシガラス飛散防止フィルム貼り

4-③ 体育館工事概要

- (1) 屋根改修
- (2) 外壁補修
- (3) 床仕上げ（コートライン含む）改修、壁・天井鉄骨等塗装
- (4) 建具改修
- (5) トイレ改修
- (6) バスケットゴール等体育器具改修
- (7) LED 照明器具取替等電気設備改修
- (8) 給排水・換気設備等改修

<長寿命化改修工事>

長寿命化改修とは、老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うことです。これにより、建物を将来にわたり長く使い続けることができ、建築コストを抑えながら建て替え同等の教育環境の確保が可能です。

(改修内容)

- 1 建物躯体の老朽化対策
- 2 外壁・屋上・内部部分の老朽化対策
- 3 設備の老朽化対策
- 4 安全・安心な施設環境の確保や地域コミュニティの拠点形成のための改修
- 5 環境に配慮した改修
- 6 多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる環境への改修

(メリット)

- 1 躯体を再利用するため、廃棄物処分量が少ない
- 2 工事費の縮減、工事期間の短縮
- 3 建て替えた場合と同等の教育環境の確保が可能

(デメリット)

- 1 設備機器の取り付けに工夫が必要（配管・配線ルート、天井高さ）
- 2 仕上げ材撤去後の躯体等の補修方法のリスク（変更）
- 3 設計及び施工上の制約が多い（間仕切りの変更）
- 4 工事実績が少ないため、設計や施工のノウハウが十分に蓄積されていない

(費用及び工事期間)

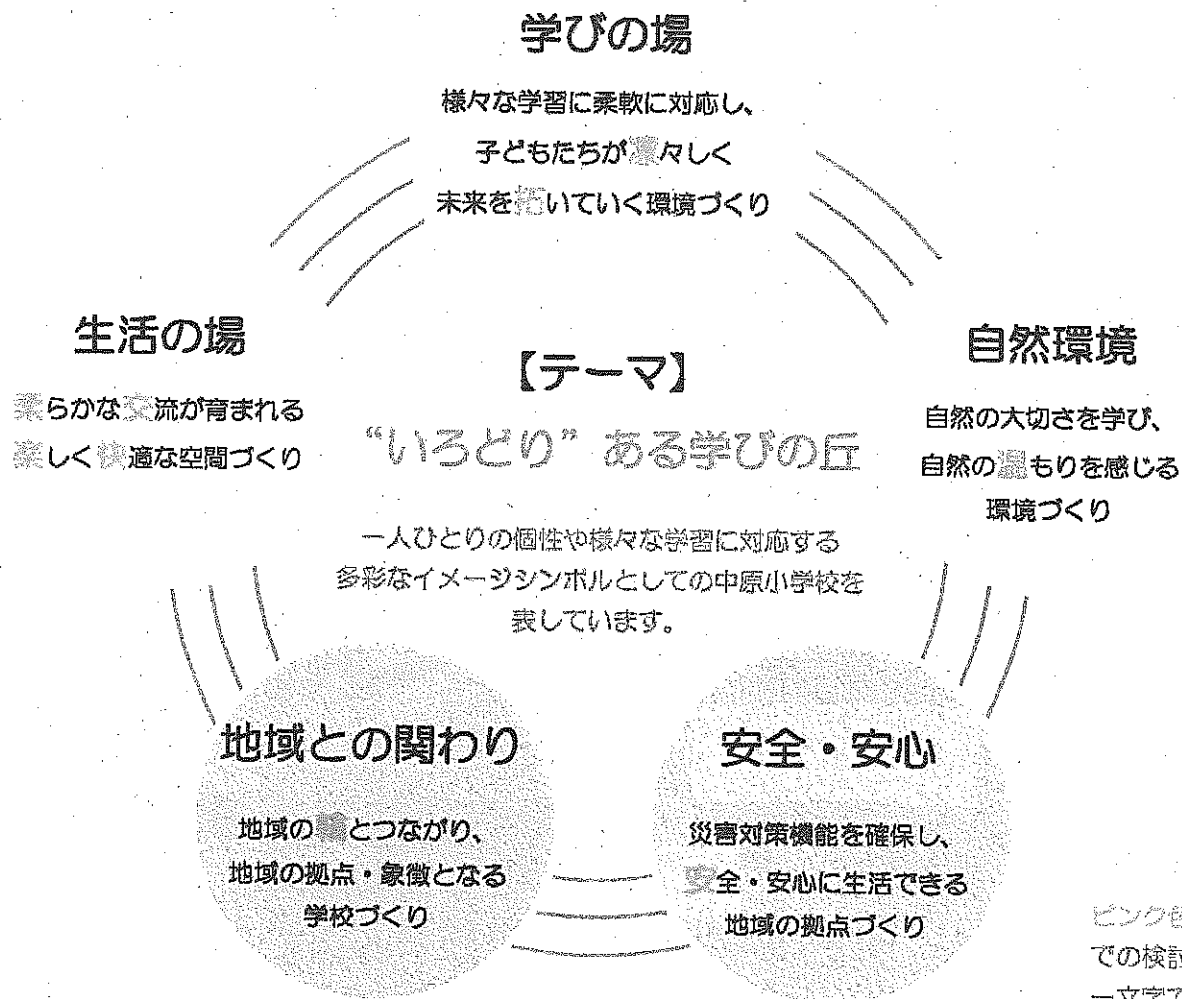
- 1 費用：建て替え工事費の約6～7割
- 2 工事期間：約2～3年

● 学校づくりの基本理念（基本コンセプト）

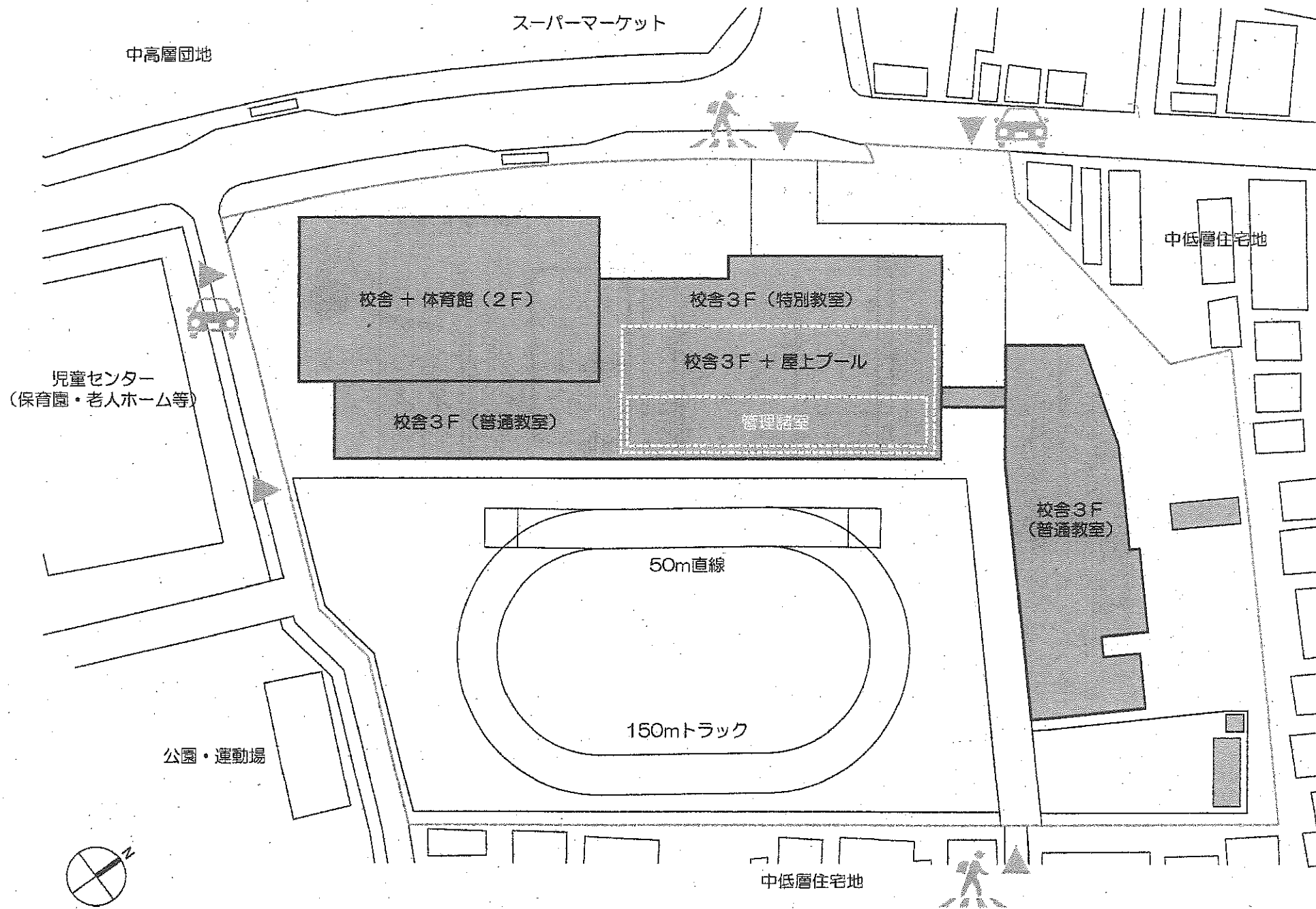
中原小学校は、昭和34年に建設され、耐震補強はされているものの、老朽化が進んだ建物を子どもたちが使用している状況です。

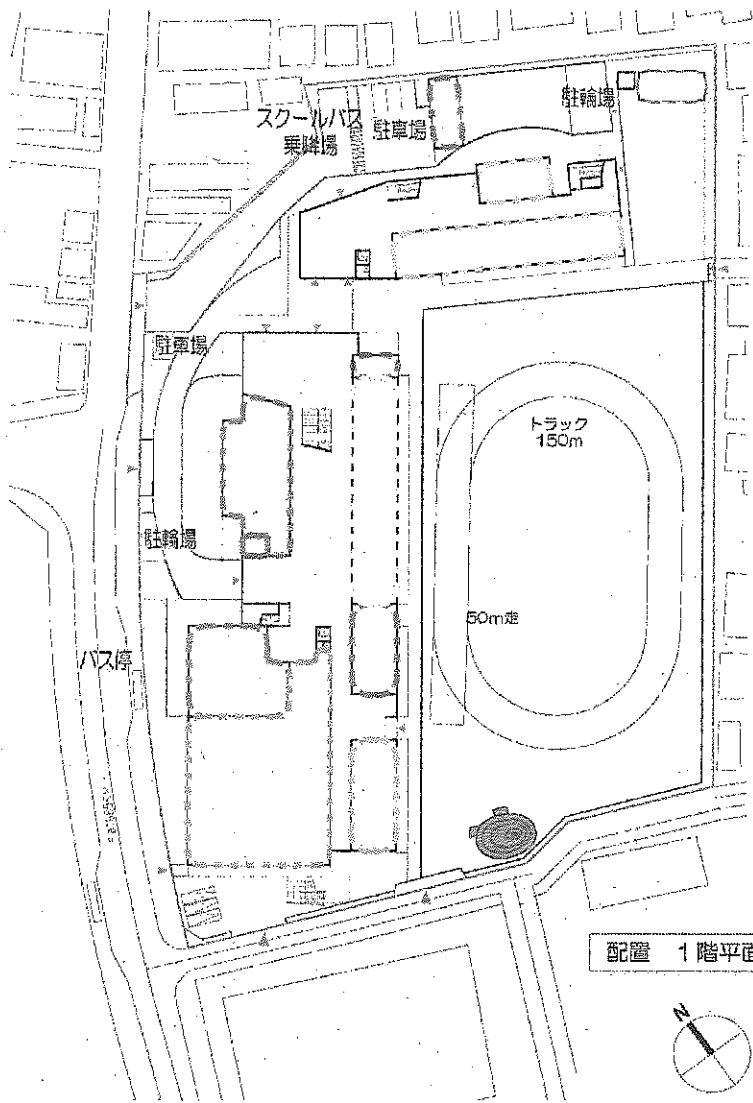
平成27年度に「西東京市立中原小学校建替協議会」において検討された事項を踏まえ、変わりゆく時代の教育環境に柔軟に対応ができ、地域に愛され、地域の核として機能する学校を目指して、以下のとおり、施設整備コンセプトを展開します。

● 建替コンセプト

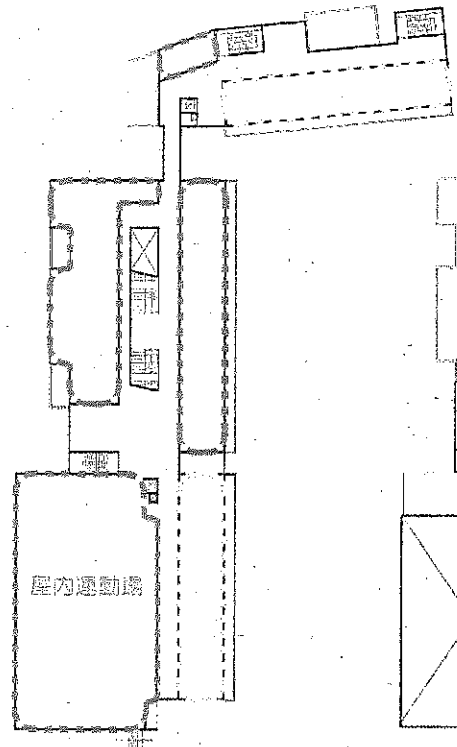


ピンク色文字部は、平成27年度の建替協議会での検討過程において、建替コンセプトを漢字一文字で表現した御意見を反映したものです。

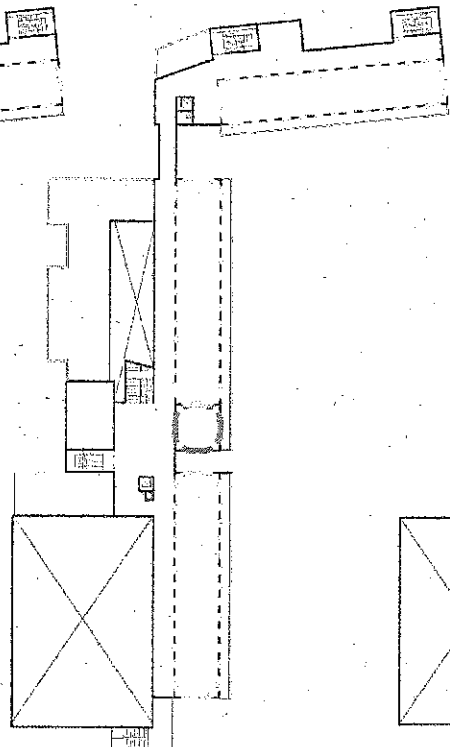




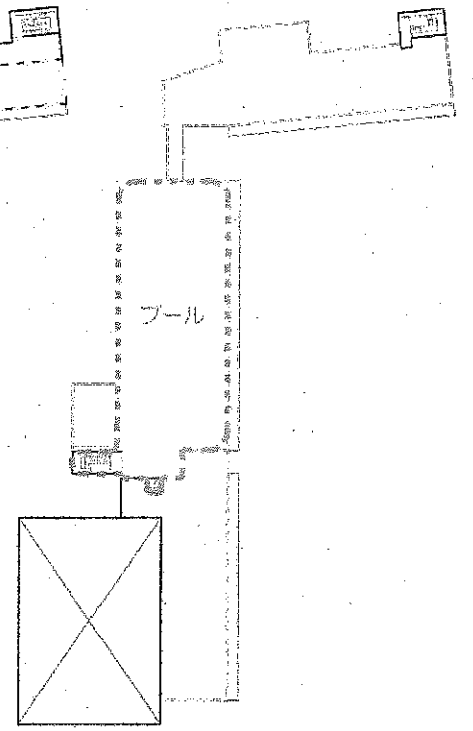
配置 1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図

- 普通教室ゾーン
- 特別教室ゾーン
- 学童クラブゾーン
- 特別支援学級ゾーン
- 体育施設ゾーン
- 給食諸室ゾーン
- 管理諸室ゾーン